

令和7年3月

湯梨浜町議会定例会

令和7年度

一般会計

当初予算参考資料

(歳出予算 事業概要書)

東伯郡湯梨浜町

【まちづくり企画課】

令和7年度 一般会計
歳出予算事業概要書 目次

歳出予算

款	項	ページ
2. 総務費		
	1. 総務管理費	1
	5. 統計調査費	32

令和 7年度 001 一般会計
現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費
事業	大 0025 ボランティア団体育成支援事業 (簡略番号：001175)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	総-総-その他		

所属	0101010800-0000	まちづくり企画課			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	943	570	373	898	391
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	205	131	74	199
	地方債				
	その他				
	一般財源	738	439	299	699

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 ボランティア団体の育成支援の取組を進める。
【事業の必要性】
 協働のまちづくりの推進に向けた住民参加型の地域活動の促進のため、ボランティア団体等の育成が必要である。

2. 根拠法令
 湯梨浜町ボランティア団体登録要綱
 湯梨浜町いきいきボランティア団体活動助成事業実施要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【地方創生総合戦略】 基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち（まちのにぎわい創出や拠点の形成）
【第4次総合計画】 共に支え合う町民が主役のまちづくり（住民参画社会の推進）
【SDGs】 目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 ①ボランティア登録団体の活動助成②各団体の活動紹介（町報等）
【事業の効果】
 活動助成を行うことで活動の充実と促進を図ることができる。また、活動の紹介や優秀団体の表彰を行うことによって、当該団体はもとより、町民のボランティア活動に対する意識の高揚を図ることができる。
【令和6年度評価】
 新たに2団体の登録があったほか、助成金申請のあった既登録16団体の活動ではR1以降5年ぶりに活動を再開する団体があるなどコロナ禍前を上回る水準への回復が見られた。

6. 財源の説明
【県支出金】 205千円（市町村創生交付金）
【一般財源】 738千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	924	924
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	6	6	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	5	5	25 寄附金		
11 役務費	8	8	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	943	943

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020101001	市町村創生交付金	205	
都道府県支出金	15020101424	市町村創生交付金（いきいきポ		131

【補助金】

補助金等の名称	市町村創生交付金				
補助基本額	924	補助率	22.2%	補助金額	205

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

02款 01項 06目 002500000事業 ボランティア団体育成支援事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費
事業	大 0042 まちづくり創造事業 (簡略番号：001229)	中		小	
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	総-総-その他		

所属	0101010800-0000	まちづくり企画課			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	603	702	△99	462	482
財源内訳	国庫支出金 300	350	△50	230	
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源 303	352	△49	232	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 自主的、継続的にまちづくりを推進する団体への助成を行う。
 ○まちづくり創造事業
 対象事業は、原則として新規事業であり、事業成果の持続性（原則3年以上）及び活性化が図られるソフト事業で、審査会により採択の可否を決定する。
 ○まちづくりステップ事業
 まちづくり創造事業で3年間経過した団体のうち、その事業成果の有効性があるものについて、さらに3年間の助成を行う（審査会で採択の可否を決定）。
【事業の必要性】
 自主的、継続的なまちづくり創造活動を行う団体の活動を支援することにより、町の活性化及び振興の中核になる人材育成が図られ、住民が主体となるまちづくりを促進できる。

2. 根拠法令
 湯梨浜町まちづくり創造事業実施要綱・湯梨浜町まちづくりステップ事業実施要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 共に支え合う 町民が主役のまちづくり(コミュニティ活動の促進)
【SDGs】 目標11「住み続けられるまちづくり」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 新規申込みの際は審査会を開催し、採択の可否を決定する。既採択団体には、活動に対する経費の一部を助成する。
【事業の効果】 住民主体によるまちづくりの機運醸成を図ることができる。
【令和6年度評価】
 既存団体への補助により町民との協働のまちづくりの推進を図ることができた。

6. 財源の説明
【国庫支出金】 300千円（新しい地方経済・生活環境創生交付金）
【一般財源】 303千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	600	600
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費	3	3	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	603	603

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
国庫支出金	14020101247	デジタル田園都市国家構想交付		350
国庫支出金	14020101248	新しい地方経済・生活環境創生	300	

【補助金】

補助金等の名称	新しい地方経済・生活環境創生交付金				
補助基本額	600	補助率	50%	補助金額	300

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

02款 01項 06目 004200000事業 まちづくり創造事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事業	大	0051	集落支援事業	(簡略番号：022240)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時		
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	総-総-その他				

所属	0101010800-0000	まちづくり企画課			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	39,594	39,893	△299	38,732	36,007
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	810	700	110	547
	地方債	4,700	4,500	200	4,500
	その他	941	755	186	755
	一般財源	33,143	33,938	△795	32,930

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 集落が実施する交流活動や防災活動等に対し、世帯数や事業規模に応じて交付金を交付する。
【事業の必要性】
 集落の自主的な活動に対する支援によって、地域の活性化や住みよいまちづくりを推進する。

2. 根拠法令
 湯梨浜町集落づくり総合交付金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 共に支え合う 町民が主役のまちづくり(コミュニティー活動の促進)
【SDGs】 目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画及び事業の効果】
 ①区長等事務費交付金…各区長や班長等の連絡事務経費を助成し、行政を推進。
 ②集落運営交付金…一般活動経費を助成し、円滑な集落運営を図る。
 ③自主防災組織運営交付金…災害訓練や機械維持経費を助成。防災意識を高揚・啓発。
 ④防犯灯維持管理交付金…集落が管理する防犯灯の維持経費を助成し、安全を推進。
 ⑤防犯灯設置交付金…集落が設置する防犯灯の設置費等を助成し、防犯強化を図る。
 ⑥集落活性化事業交付金…集落の活性化に資する各種事業に対する支援を行う。
 ⑦各集落に対する伴走型支援…当該交付金等の申請書類作成に係る出張支援等を行う。
【令和6年度評価】 76区に交付金を交付するなど、集落の活性化を図ることができた。

6. 財源の説明
【県支出金】 394千円 (星空に優しい安心なまちづくりLED防犯灯設置等促進事業補助金) 416千円 (防災・危機管理対策交付金 (自主防災組織運営事業))
【繰入金】 941千円 (ふるさと振興まちづくり基金繰入金)
【地方債】 4,700千円 (過疎対策事業債 (集落づくり総合交付金事業) (泊・東郷地域) (充当率100%、交付税措置70%))
【一般財源】 33,143千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	39,511	39,511
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費	83	83	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	39,594	39,594

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020101218	星空に優しい安全なまちづくり	394	274
都道府県支出金	15020101413	防災・危機管理対策交付金 (自	416	426
	繰入金	地域振興基金繰入金		444
	繰入金	ふるさと振興まちづくり基金繰	941	311
	地方債	過疎対策事業債 (集落支援事業	4,700	4,500

【補助金】

補助金等の名称	星空に優しい安心なまちづくりLED防犯灯設置等促進事業補助金				
補助基本額	1,579	補助率	25.0%	補助金額	394

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

【事業名】 02-0106-0051 集落支援事業

(歳出予算事業概要書 補足資料)

防犯灯設置等交付金の見直しについて

【事業概要等】

【概要】 区が管理する LED 防犯灯の新設、更新又は撤去に係る費用に対し支給する交付金

【制度改正理由】 物価高騰対策・脱炭素の推進・世帯数に応じた負担割合の均衡を図る。

【事業費】 令和 7 年度 2,400 千円、 令和 6 年度 1,625 千円

・ 現行制度と改正内容

工事内容	現行	改正（予定）								
防犯灯新規設置		事業費×下記に定める補助率								
防犯灯更新	事業費×補助率 2/3 ※1 基あたりの上限は 50,000 円（ただし、支柱に係る経費は 1/2）	<table border="1"><thead><tr><th>区の世帯数</th><th>補助率</th></tr></thead><tbody><tr><td>1～100 世帯</td><td>2/3→4/5</td></tr><tr><td>101～200 世帯</td><td>2/3→3/4</td></tr><tr><td>201 世帯～</td><td>2/3→2/3</td></tr></tbody></table>	区の世帯数	補助率	1～100 世帯	2/3→ 4/5	101～200 世帯	2/3→ 3/4	201 世帯～	2/3→2/3
		区の世帯数	補助率							
1～100 世帯	2/3→ 4/5									
101～200 世帯	2/3→ 3/4									
201 世帯～	2/3→2/3									
		※1 基あたりの上限は 50,000 円→ 55,000 円 ※世帯数は当該年度の 4/1 現在								
防犯灯撤去	事業費×1/2 ※1 基あたりの上限は 19,000 円	事業費×1/2 ※1 基あたりの上限は 19,000 円→ 21,000 円								

・ 改正効果

1 世帯当たりの負担：200 世帯までの集落では、全灯数を更新した場合 500 円～1,000 円の負担削減となる。

【事業名】 02-01-06-0051 集落支援事業

(歳出予算事業概要書 補足資料)

集落活性化事業交付金の補助割合等の見直しについて

【事業概要等】

【概要】地域の祭りや清掃活動、行事等、集落の活性化に資する各種事業を支援することを目的とする。

【制度改正理由】平成 17 年、全集落一律で補助割合 1/2、限度額 100,000 円でスタートした。平成 29 年に 201 世帯以上の限度額を現行の額に引き上げた。しかし、小集落においては今般の物価高騰の影響、高齢化も進み事業を実施できないなど地域の交流が衰退してきていることから、現行制度を改正し地域の活性化に寄与するため。

【事業費】令和 7 年度 8,466 千円、令和 6 年度 7,600 千円

現行			改正 (予定)		
区の世帯数	補助割合	限度額	区の世帯数	補助割合	限度額
1～200 世帯	事業費×1/2	100,000 円	1～100 世帯	事業費×2/3	110,000 円
			101～200 世帯		120,000 円
201～300 世帯		150,000 円	201～300 世帯		150,000 円
301～400 世帯		200,000 円	301～400 世帯		200,000 円
401～500 世帯		250,000 円	401～500 世帯		250,000 円

※世帯数は当該年度の 4 月 1 日現在

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費
事業	大 0053 天女のふる里づくり事業 (簡略番号：032338)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	総-総-その他		

所属	0101010800-0000	まちづくり企画課				
区分	事業費	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
財源内訳	国庫支出金	7,889	7,464	425	3,841	124
	県支出金		50	△50	50	
	地方債					
	その他	2,536	2,709	△173	2,565	
	一般財源	5,353	4,705	648	1,226	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 東郷池の象徴である「天女」を活用したまちづくりを推進する。
【事業の必要性】
 東郷池のポテンシャルを最大限活かすためのキーワードとして「天女」を活用し、本町の強みを生かした特色あるまちづくりを推進し、地域活性化を促す。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【地方創生総合戦略】 基本目標 I 活力ある元気なまち（観光産業の振興）
【第4次総合計画】 にぎわいと活力あるまちづくり（観光の振興）
【SDGs】 目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 ①天女が関係自治体を通じた町のPR、②景観の保全、③地域おこし協力隊による緑化推進、④宇宙桜植樹関係事業の推進、⑤花と緑のまちづくり支援、⑥東郷湖「花」基金積立て等を行う。
【事業の効果】
 天女をキーワードにまちづくりを推進することにより、地域の魅力向上に向けた事業展開を図ることができる。
【令和6年度評価】
 地域おこし協力隊が途中任用であり緑化推進の滞り等はあったが、宇宙桜関係団体との交流によるPRや地元ボランティアとの活動を通じた緑化維持・推進を図ることができた。

6. 財源の説明
【諸収入】 19千円（観光宣伝用ピンバッジ販売代金）
 11千円（観光宣伝用トートバッグ販売代金）
【繰入金】 500千円（天女のふる里東郷湖「花」基金繰入金）
【寄附金】 2,000千円（天女のふる里東郷湖「花」基金寄附金）
【財産収入】 6千円（基金預金利息）
【一般財源】 5,353千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	2,169	2,169	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	733	733	18 負担金、補助及び交付金	1,706	1,706
04 共済費	474	474	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	120	120	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金	2,006	2,006
10 需用費	60	60	25 寄附金		
11 役務費	4	4	26 公課費		
12 委託料	617	617	27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	7,889	7,889

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020101446	県花と緑のまちづくり支援事業		50
寄附金	17010101003	天女のふる里東郷湖「花」基金	2,000	2,000
財産収入	16010201418	天女のふる里東郷湖「花」基金	6	2
繰入金	18021501001	天女のふる里東郷湖「花」基金	500	673
諸収入	20050302242	観光宣伝用ピンバッジ販売代金	19	24
諸収入	20050302296	観光宣伝用トートバッグ販売代	11	10

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		

02款 01項 06目 005300000事業 天女のふる里づくり事業

【事業名】 天女のふる里づくり事業

【事業概要等】

1 東郷湖周の景観保全事業（事業費 213千円）

- 「天女」を活用したまちづくりの推進策の一環として、東郷湖周の景観保全等を行う。
 - ・ 旧桜小学校の北側斜面の雑草等の除去
 - ・ 東郷湖周設置のモニュメント維持管理

2 地域おこし協力隊（コミュニティ・ガーデナー）事業（事業費 4,902千円）

- 「天女」を活用したまちづくりの推進策の一環である町内の緑化推進のため、地域おこし協力隊を任用し以下の活動を行う。
 - ・ 天女桜をはじめとする桜の保護保全活動
 - ・ 緑化活動団体の育成等、町民の緑化活動の推進支援
 - ・ 町内の花や植物、樹木の魅力についての情報発信

3 宇宙桜（天女桜）関係事業（事業費 588千円）

- 「天女」を活用したまちづくりの推進策の一環として、宇宙を旅した桜の種から生育した苗木を「天女桜」としてPR等を実施する。
 - ・ 宇宙桜により交流を始めた県外の市町村との広域交流祭典「復興宇宙サミット」への出席を通じた自治体交流の推進及び町のPRの実施
 - ・ 旧桜小学校敷地内に植樹している宇宙桜（天女桜）の地元ボランティア等による維持管理の実施

4 花と緑のまちづくり支援事業補助金（事業費 180千円）

- 「天女」を活用したまちづくりの推進策の一環である町内の緑化推進のため、補助金交付により住民団体等が行う緑化活動の支援を行う。
 - ・ 町内5㎡以上の広さで行われる、経費10千円以上の事業に対し、100千円を上限として助成

5 天女のふる里東郷湖「花」基金積立金（事業費 2,006千円）

- 「天女」を活用したまちづくりの推進策の一環である町内の緑化推進の財源として、ふるさと納税制度を活用して寄付を募り、基金を積み立てる。

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費
事業	大 0054 地域にぎわい創出事業 (簡略番号：033328)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	総-総-その他		

所属	0101010800-0000	まちづくり企画課				
区分	事業費	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
財源内訳	国庫支出金	3,521	3,537	△16	2,938	2,720
	県支出金					
	地方債	1,500	1,500		1,100	
	その他	2,000	2,000		1,800	
	一般財源	21	37	△16	38	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 地域が主体的に取り組む「祭り・運動会・芸能大会・スポーツ大会・文化祭」に対して補助金を交付する。
【事業の必要性】
 地域の活動を支援することにより、にぎわい創出と住民間の交流の促進を図る。

2. 根拠法令
 湯梨浜町地域にぎわい創出事業補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 共に支え合う 町民が主役のまちづくり（コミュニティー活動の促進）
【SDGs】 目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 地域が実施する「祭り、運動会、芸能大会、スポーツ大会、文化祭」に対して補助金を交付。
【設定地域】
 12地域（羽合：7地域、東郷：4地域、泊：1地域）
【補助率・補助金限度額】
 補助率：10/10、限度額：地域均等分90,000円＋地域の人口×150円
【事業の効果】
 補助金の交付により、地域住民が協調して自主的に事業を計画・実施することで、参画と協働による地域づくりと地域内における連携体制の強化を図り、にぎわいを創出することができる。
【令和6年度評価】
 担い手がおらず行事を行うことが出来なかった地域が1つ（花見地域）あったが、それ以外の地域では納涼祭・運動会等の事業が実施され、にぎわい創出と住民間の交流の促進を図ることができた。

6. 財源の説明
【地方債】 1,500千円（過疎対策事業債（地域にぎわい創出事業）
 （充当率100%、交付税措置70%）
【繰入金】 2,000千円（元気なまちづくり基金繰入金） **【一般財源】** 21千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	3,514	3,514
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費	7	7	26 公課費		
12 委託料			27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費			合計	3,521	3,521
15 原材料費					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18020501001	元気なまちづくり基金繰入金	2,000	2,000
地方債	21010108007	過疎対策事業債（地域にぎわい	1,500	1,500

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

令和 7年度 001 一般会計
 現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費
事業	大 0115 地方路線バス維持事業 (簡略番号：001296)	中		細	
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	総-総-その他		

所属	0101010800-0000	まちづくり企画課			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	20,262	12,240	8,022	18,075	12,848
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	1,238		1,238	
	地方債	200	200		200
	その他				
	一般財源	18,824	12,040	6,784	17,875

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 路線バス運行事業者の補助や高齢者の定期券購入助成等を行う。
【事業の必要性】
 高齢者や学生など自ら交通手段を持たない住民の生活交通である地方バス路線の確保・維持等を行う必要がある。

2. 根拠法令
 (国) 地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱
 (町) 湯梨浜町補助金等交付規則・湯梨浜町高齢者定期券購入費助成要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 安全で住みやすいまちづくり (交通環境の充実)
【SDGs】 目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 ①令和6年10月1日から令和7年9月30日までの路線バスの運行実績に応じて日本交通㈱に補助する。(国庫補助対象路線3路線(広域路線含)、単独路線1路線)
 ②日本交通㈱が販売している高齢者定期券「シルバー悠遊」と日本交通㈱・日ノ丸自動車㈱が販売している「グランド70」の購入者に対して購入額に応じた助成を行う。
 ③日本交通㈱のバス車両に対しICOCAの導入費用を補助し利用者の利便性を向上させる。
【事業の効果】
 住民生活に必要な公共交通であるバス路線の維持等を行い、利便性の向上を図ることができる。
【令和6年度評価】
 バス路線維持に係る補助金や高齢者定期券購入助成を行い、バス路線の維持・確保や利用促進を図ることができた。

6. 財源の説明
【県支出金】 1,238千円 (広域バス路線維持費補助金)
【地方債】 200千円 (過疎対策事業債(高齢者定期券購入費助成事業)(充当率100%、交付税措置70%))
【一般財源】 18,824千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	20,047	20,047
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	150	150	25 寄附金		
11 役務費	55	55	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	10	10	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	20,262	20,262

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020101201	広域バス路線維持費補助金	1,238	
地方債	21010108012	過疎対策事業債(高齢者定期券)	200	200

【補助金】

補助金等の名称	広域バス路線維持費補助金				
補助基本額	3,922	補助率	31.6%	補助金額	1,238

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

02款 01項 06目 011500000事業 地方路線バス維持事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事業	大	0127	ジュニアグラウンド・ゴルフ発祥地大会補助金	(簡略番号：001338)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31		新規・継続	継続	臨・経	経常		
経費区分	未設定		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	総-総-その他				

所属	0101010800-0000		まちづくり企画課		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	2,763	2,981	△218	2,108	2,174
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債	1,900	2,100	△200	1,300
	その他	802	800	2	800
	一般財源	61	81	△20	8

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 町及び公益社団法人日本グラウンド・ゴルフ協会の主催で全国の小学生からの参加者を募り、グラウンド・ゴルフ発祥の地である湯梨浜町で大会を開催し、ジュニアスポーツ人口の拡大と青少年の健全育成を図る。
【事業の必要性】
 昭和57年に気軽に誰もが楽しめる生涯スポーツとして誕生したが、その年齢層は高齢化している。そのため、発祥地の責務として、ジュニア世代への普及・啓発が必要である。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり (生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進)
【SDGs】 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 第20回ジュニアグラウンド・ゴルフ発祥地大会の開催
 ・期日(予定)：令和6年8月2日(土)～3日(日) (会場：潮風の丘とまりほか)
 ・募集人数：180名(小学生の部)、60名(付添者の部)
【事業の効果】
 本大会を通して、青少年へのグラウンド・ゴルフの普及が図られるとともに、世代や地域を超えた交流推進を図ることができる。また、地域の産業や観光資源を活用することにより、地域の活性化が期待される。
【令和6年度評価】
 総勢121名(うち県外44名)の参加者のもと本大会を開催。町補助金交付により大会の開催を支援し、ジュニア世代への普及に努めることができた。

6. 財源の説明
【繰入金】 802千円(ジュニアグラウンド・ゴルフ発祥地大会基金繰入金)
【地方債】 1,900千円(過疎対策事業債(ジュニアグラウンドゴルフ発祥地大会)(充当率100%、交付税措置70%))
【一般財源】 61千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	2,763	2,763
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	2,763	2,763

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021001001	ジュニアグラウンド・ゴルフ発	802	800
地方債	21010108004	過疎対策事業債(ジュニアグラ	1,900	2,100

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事業	大	0221	さくら工芸品工房管理運営臨時経費	(簡略番号：040500)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	臨時	
経費区分	経常的経費			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	総-総-その他			

所属	0101010800-0000	まちづくり企画課			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	6,028	4,617	1,411	6,129	169
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債	5,000	4,600	400	5,800
	その他				
	一般財源	1,028	17	1,011	329

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 ・さくら工芸品工房3階廊下の天井が雨漏りしているため、屋上の防水改修工事を行う。

【事業の必要性】
 施設利用者に安全で快適な環境が提供できるとともに、誘客効果が期待できる。

2. 根拠法令
 さくら工芸品工房の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり
【SDGs】目標8「働きがいも経済成長も」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 屋上全面の防水改修工事
【事業の効果】
 施設利用者に安全で快適な環境が提供できるとともに、誘客効果が期待できる。
【令和6年度評価】
 工房A、B、C、Dにエアコンを増設するとともに、踊り場の雨漏り防止のため外壁の防水工事等を行ったことで、安心・安全な施設環境を提供できた。

6. 財源の説明
【地方債】 5,000千円
 (公共施設等適正管理推進事業債(さくら工芸品工房屋上防水改修工事業)
 (充当率90%、交付税措置50%))
【一般財源】 1,028千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	392	392	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	5,636	5,636			
15 原材料費			合計	6,028	6,028

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
地方債	21010106006	公共施設等適正管理推進事業債	5,000	
地方債	21010108020	過疎対策事業債(さくら工芸品)		4,600

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費
事業	大 0223 過疎計画策定事業 (簡略番号：001484)	中		細	
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	総-総-その他		

所属	0101010800-0000	まちづくり企画課			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	442	109	333	116	83
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	442	109	333	116

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
 ①現在の過疎計画の計画期間が令和7年度末で満了となることから、新しい過疎計画の策定作業を行う。
 ②過疎地域の指定を受けている東郷・泊地域の実情を踏まえながら、現在の過疎計画の変更作業を行う。
 ③過疎計画に記載された事業の評価を行う。
【事業の必要性】
 地方の人口減少の一方で、コロナ禍により東京一極集中から地方の良さが見直されている流れを踏まえ、本町の将来像を展望しながら町の持続的発展と活性化を計画的に推進することが必要である。

2. 根拠法令
 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法
 湯梨浜町過疎とみなされる区域に係る過疎地域持続的発展計画策定委員会設置要綱
 SDGs 目標 1 1 住みつけられるまちづくりを

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
 湯梨浜町過疎とみなされる区域に係る過疎地域持続的発展計画（令和3年度～令和7年度）

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 令和4年度に新たに過疎地域に指定された東郷地域を含めて策定した「町過疎計画」の進捗状況の評価及び検証を行い、過疎地域の持続的発展へ向けた計画を町民の理解と協力を得て策定する。
【事業の効果】
 計画策定により、町の将来像を見据えた総合的かつ計画的なまちづくりが推進できる。
【令和6年度評価】
 過疎計画の前年度評価を行うとともに、必要に応じて計画の変更を行い、過疎対策事業を進めることができた。

6. 財源の説明
【一般財源】 442千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	192	192	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	200	200	25 寄附金		
11 役務費	50	50	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	442	442

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

令和 7年度 001 一般会計
 現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費
事業	大 0306 駅舎改修等整備事業 (簡略番号：041160)	中		細	
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	新規	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	総-総-その他		

所属	0101010800-0000	まちづくり企画課			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	3,442		3,442		7,106
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債	3,400		3,400	
	その他				
一般財源	42		42		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 JR松崎駅にてJR管理のトイレの取壊し及び新設に係る設計業務を行う。
【事業の必要性】
 既存の松崎駅トイレについては男女兼用及びバリアフリー非対応であり、利用者の利便性を向上させるため

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】安全で住みやすいまちづくり(交通環境の充実)
 SDGs 目標 1 1 住み続けられるまちづくりを

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 新設トイレについて設計。設計期間80～100日、工事期間160～180日程度の想定。工事着工を9月想定。
【事業の効果】
 駅利用者の利便性の向上を図ることができる。

6. 財源の説明
【地方債】 3,400千円 (過疎対策事業債(充当率100%、交付税措置70%))
【一般財源】 42千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	3,442	3,442	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費			合計	3,442	3,442
15 原材料費					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
地方債	21010108014	過疎対策事業債(駅舎新築改修)	3,400	

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

02款 01項 06目 030600000事業 駅舎改修等整備事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	06	企画費
事業	大	0323	湯梨浜町若者会議事業	(簡略番号：044228)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	臨時	
経費区分	経常的経費			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	総-総-その他			

所属	0101010800-0000	まちづくり企画課			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	496	413	83	419	237
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	110		110	23
	地方債				
	その他				
	一般財源	386	413	△27	396

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
 若者（16歳から35歳までの町内在住・在学・在勤・出身者等）で構成する「ゆりはま若者会議」を開催し、町の課題解決等に向けた話し合いのうえ、町に対する事業提案等を行ってもらう。また、提案事業等に若者自身が取り組めるよう「湯梨浜町若者会議提案事業チャレンジ補助金」を活用し、若者のチャレンジを促す。
【事業の必要性】
 会議の開催により若者の町政への参画を促し、若者ならではの視点を活かした魅力あるまちづくりを行うことで、移住定住の促進、担い手育成等のまちの課題解決を図る。
 2. 根拠法令
 3. 用地の状況
 4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 共に支え合う 町民が主役のまちづくり（住民参画社会の推進）
【SDGs】 目標11 「住み続けられるまちづくりを」
 5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 9月～11月において全6回開催する。町の現状把握、課題の発見や解決策等についての話し合いを行ってほしい、最終報告会で町への事業提案等を行ってほしい。
 また、令和5年度会議で発足したゆりはまダウンタウンによる、多世代交流プロジェクト事業（2年目）への補助を行う。
【事業の効果】
 若者の町政への参画を促し、若者ならではの視点を活かした魅力あるまちづくりを行うことで、移住定住の促進、担い手育成などの町の課題解決につなげることができる。
【令和6年度事業評価】
 15名の委員により全6回の会議を開催し、3つのチームから事業提案が行われた。
 6. 財源の説明
【県支出金】 110千円（市町村創生交付金）
【一般財源】 386千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	100	100
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	348	348	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	30	30	25 寄附金		
11 役務費	18	18	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	496	496

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020101001	市町村創生交付金	110	

【補助金】

補助金等の名称	市町村創生交付金				
補助基本額	496	補助率	22.2%	補助金額	110

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費
事業	大 0329 湯梨浜町マルシェ開催事業補助金 (簡略番号：045739)				
	中				
	小				
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	総-総-その他		

所属		0101010800-0000	まちづくり企画課		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	600		600		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	300		300	
	地方債				
	その他				
	一般財源	300		300	

【事業概要】

- 事業の概要と必要性
 - 【事業の概要】
町内で地域産物等を販売するマルシェを開催する個人、団体等に対し、運営費用を補助することにより、地域活性化や買物機運の醸成を図る。
補助率：10/10・補助金上限：300千円
 - 【事業の必要性】
住民、生産者、事業者同士の交流の場を創出し、にぎわいと地域の活性化を図るとともに地域の買物環境を維持・確保し町民生活の機能維持を図る。
- 根拠法令
湯梨浜町マルシェ開催事業補助金交付要綱（仮）
- 用地の状況
- 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり（商工業の振興）
【SDGs目標】「11 住み続けられるまちづくりを」
- 本年度の計画効果
【本年度の計画】
鳥取県買物環境確保推進交付金を利用し、個人、団体等がマルシェを開催する際に必要な広報、会場関係経費に対し補助を行う。
【事業の効果】
住民、生産者、事業者同士の交流や地域の活性化を図ることができる。
- 財源の説明
【県補助金】300千円（鳥取県買物環境確保推進交付金）
【一般財源】300千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	600	600
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	600	600

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020101462	鳥取県買物環境確保推進交付金	300	

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県買物環境確保推進交付金		
補助基本額	600	補助率	50.0%
		補助金額	300

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	12 国際交流推進費
事業	大 0117 アロハフレンドシップ補助金 (簡略番号：002077)	中		細	
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	総-総-その他		

所属	0101010800-0000	まちづくり企画課			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	6,993	1,505	5,488	2,664	6,512
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	1,555	356	1,199	356
	地方債				
	その他				
一般財源	5,438	1,149	4,289	2,308	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 姉妹都市提携を結んでいるアメリカ合衆国・ハワイ郡との交流を継続し、中学生の交流事業等を実施するものである。
【事業の必要性】
 平成8年に姉妹都市提携を締結して以来、友好交流を通じて中学生の国際理解等を深めることができる。

2. 根拠法令
 姉妹都市交流に関する盟約書

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 共に支え合う町民が主役のまちづくり（多様な交流の推進）
【SDGs】 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 ①町内中学生のハワイ郡訪問による交流事業
 ②ハワイ郡及びハワイ島日系人商工会議所関係者の来町による交流事業
【事業の効果】
 本町とハワイ郡の中学生等が交流することで、相互理解の向上が期待される。
【令和6年度評価】
 ハワイ島日系人商工会議所元会頭の来町、ハワイ郡ヒロ中学生の来町（ホームステイ）を実現させ交流を深めた。またハワイ郡新郡長の就任に伴いハワイ郡を訪問し、姉妹都市提携盟約書の更新を行い、姉妹都市関係を継続させることができた。

6. 財源の説明
【県支出金】 1,555千円（市町村創生交付金）
【一般財源】 5,438千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	6,993	6,993
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	6,993	6,993

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020101001	市町村創生交付金	1,555	
都道府県支出金	15020101430	市町村創生交付金（アロハフレ		356

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県市町村創生交付金				
補助基本額	6,993	補助率	22.2%	補助金額	1,555

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	13	ハワイアロハホール費
事業	大	0111	ハワイアロハホール臨時経費	(簡略番号：002250)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	臨時	
経費区分	未設定			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	総-総-その他			

所属	0101010800-0000	まちづくり企画課			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	136,387	93,939	42,448	112,212	32,359
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債	124,500	80,700	43,800	94,300
	その他				
	一般財源	11,887	13,239	△1,352	17,912

【事業概要】

- 事業の概要と必要性

【事業の概要】
 老朽化等に伴う施設・設備の改修を行う。R8年度にハワイ郡との姉妹都市提携が30周年を迎えるにあたりハワイをイメージする記念スポットをホール敷地内に造るためのデザイン

【事業の必要性】
 施設を快適かつ安心して利用していただくため、改修などの施設設備の老朽化等への対応が必要である。また、ハワイ郡姉妹都市提携30周年記念のスポットを造ることをきっかけアロハホールの認知度の向上及び観光スポットとして日本のハワイをPRすることができる。
- 根拠法令

ハワイアロハホールの設置及び管理に関する条例
 ハワイアロハホールの設置及び管理に関する条例施行規則
- 用地の状況
- 基本計画との関連

【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとつづくり（文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見）
【SDGs目標】 4. 質の高い教育をみんなに
- 本年度の計画効果

【本年度の計画】
 ・大ホール耐震天井改修等工事 ほか
 ・ハワイ郡姉妹都市提携30周年記念スポットデザイン委託

【令和6年度評価】
 長年の懸案事項であった大ホール特定天井耐震化工事等にも着手することができた。施設設備の老朽化が進む中、必要箇所の修繕等を実施するとともに、来館者に安全な施設環境を提供することができた。
- 財源の説明

【地方債】 38,500千円（緊急防災・減災事業債（充当率100%、交付税措置70%））
 8,400千円（公共施設等適正管理推進事業債（充当率90%、交付税措置50%））
 77,600千円（脱炭素化推進事業債（充当率90%、交付税措置50%））
【一般財源】 11,887千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費	1,518	1,518
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	641	641	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	1,415	1,415	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	132,813	132,813			
15 原材料費			合計	136,387	136,387

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
地方債	21010105007	緊急防災・減災事業債（アロハ	38,500	23,600
地方債	21010106004	公共施設等適正管理推進事業債	8,400	
地方債	21010107003	脱炭素化推進事業債（アロハホ	77,600	57,100

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	13
事業	大 0115 自主公演事業 (簡略番号：002227)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	総-総-その他		

所属		0101010800-0000	まちづくり企画課		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	487	1,555	△1,068	1,534	509
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	340	80	260	187
	一般財源	147	1,475	△1,328	1,347

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 自主企画を始め、各種共催事業等へ積極的に応募し、質の高い公演の提供に努める。今年度は(公財)鳥取県文化振興財団と共催し、バレエ「赤毛のアン」公演を実施する。
【事業の必要性】
 町民の文化意識の高揚のため、芸術文化の拠点であるアロハホールにおいて優れた芸術や文化交流の場を提供することが必要である。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり(文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見)
【SDGs目標】4. 質の高い教育をみんなに

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 ◎スタインウェイピアノを弾こう会
 世界最高峰のピアノを安価で貸し出すことで、町民等へ使用の機会を設けるとともに、施設のPRを図る。また、ピアノのコンディションを維持する。
 ◎バレエ「赤毛のアン」公演
 バレエの自主公演事業は初めてであり、町民に新たな文化芸術に触れ合う機会を提供する。
【事業の効果】
 自主企画事業の実施により、文化の発信源としての機能を果たすとともに設備を活用した文化活動の推進を図る。また他団体との連携を図り、共催事業等を積極的に行うことで、安価に質の高い芸術文化を提供することができる。
【R6年度評価】
 ・スタインウェイを弾こう会(1回)
 ・(町制施行20周年記念事業)大元神楽公演、「出張! ゴルゴ塾 命の授業」講演会
 町民に新たな文化交流の機会を提供できた。

6. 財源の説明
【諸収入】340千円(アロハホール入場料) **【一般財源】**147千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	300	300
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	141	141	25 寄附金		
11 役務費	46	46	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	487	487

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
諸収入	20050302234	アロハホール入場料	340	80

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率	補助金額	

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	02	総務費	項	05	統計調査費	目	02	委託統計費
事業	大	0029	経済センサス (簡略番号：034355)					
	中							
	小							
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	経常		
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定				
補助単独区分	補助事業		目的区分	総一統計調査費				

		所属	0101010800-0000		まちづくり企画課		
財 源 内 訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算	
	事業費	50	6	44	6	4	
	国庫支出金						
	県支出金	49	5	44	5		
	地方債						
	その他						
	一般財源	1	1		1		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 経済センサス-活動調査は5年単位で実施される統計調査であり令和8年6月実施に向けて準備事務を行う。
【事業の必要性】
 委託事業

2. 根拠法令
 統計法、統計法施行令および経済センサス活動調査規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 県主催の説明会に出席し、調査員の選考などの準備事務を行う。
【事業の効果】
 次年度の本調査を円滑に実施することが出来る。

6. 財源の説明
【県支出金】 43千円 (経済センサス-活動調査費委託金)
 6千円 (経済センサス調査区管理委託金)
【一般財源】 1千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	46	46	25 寄附金		
11 役務費	4	4	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	50	50

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15030103020	経済センサス調査委託金	49	5

【補助金】

補助金等の名称			
補助基本額	補助率	補助金額	

【実施計画】

実施 計画	部		実施計画 計上額
	章		
	節		
	細節		

02款 05項 02目 002900000事業 経済センサス

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	02	総務費	項	05	統計調査費	目	02	委託統計費			
事業	大	0122	国勢調査 (簡略番号：003863)								
	中										
	小										
事業期間		令 7. 4. 1～令 8. 3. 31		新規・継続		新規		臨・経		臨時	
経費区分		未設定		事業の種類		未設定					
補助単独区分		補助事業		目的区分		総一統計調査費					

		所属	0101010800-0000		まちづくり企画課	
財 源 内 訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	7,969		7,969		2
	国庫支出金					
	県支出金	7,968		7,968		
	地方債					
	その他					
		1			1	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
 継続事業
【事業概要】
 日本の人口などを明らかにする最も基本的な統計調査として、大正5年以来5年ごとに実施される。
 結果は、議員定数、地方交付税・補助金などの算出根拠となるなど、民主主義の基盤を成す統計を提供している。
【事業の必要性】 委託事業
【実施期間】 基準日 令和7年10月1日

2. 根拠法令
 統計法、国勢調査令および国勢調査施行規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

5. 本年度の計画効果
【本年度の事業内容】
 令和7年10月1日を基準日として、湯梨浜町内に居住するすべての人及び世帯を対象に調査を実施する。
【事業の効果】
 国内の人口・世帯の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得ることができる。

6. 財源の説明
【県支出金】 7,968千円 (国勢調査委託金)
【一般財源】 1千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	5,901	5,901	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	639	639	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	31	31	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	309	309	25 寄附金		
11 役務費	210	210	26 公課費		
12 委託料	879	879	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	7,969	7,969

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15030103001	国勢調査費委託金	7,968	

【補助金】

補助金等の名称	国勢調査委託金		
補助基本額		補助率	補助金額

【実施計画】

実施 計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

02款 05項 02目 012200000事業 国勢調査